

投 信 概 況 (2025 年 11 月)

2025 年 12 月

モニタリング&エバリュエーションチーム

藤原 崇幸

本稿では、ETF を除く国内籍公募追加型株式投資信託について資金動向をまとめた。図表 1 に純資産総額と純流
入額の直近 1 年間の推移、図表 2 に当月（2025 年 11 月）の GW 分類の大分類別資金動向、図表 3 a に
GW 分類の大分類別の純資産総額シェア、図表 3b に当月の GW 分類の大分類別純流出入額を示す。

なお、本稿で示す純流出入額のうち、当月分は当社の推計値、その他の月は投資信託協会の公表値を使用した。

～当月の純流入額は 3 カ月連続で 1 兆円台、純資産総額は初の 170 兆円台に突入～

当月を振り返ると、前月末に終値 5 万 2,411 円と史上最高値をつけた日経平均株価も、11 月に入り、日中間
の政治的な緊張の高まりや国内の長期金利の上昇などを受けて、一時 5 万円を割り込んだ。しかし、日経平均株価
は月末にかけ値を戻し、月末終値は 5 万 253 円と 5 万円台を維持した。一部に不安要素があるものの、依然として
良好な市場環境の中、当月末のファンド全体の純資産総額は、前月末から 2 兆 4,037 億円増の 171 兆 843 億
円となり、過去最高を更新した。また、当月の資金フローは 30 カ月連続の純流入で、純流入額が 1 兆 5,100 億円
となり、3 カ月連続の 1 兆円台となった。

資金動向を GW 分類¹の大分類別に純資産総額の推移でみると、「グローバル株式（ヘッジなし）」や「複合」を
中心に純資産総額は前月から大幅な増加となった。最も増加額が大きかったのは「グローバル株式（ヘッジなし）」で、
1 兆 2,270 億円増の 97 兆 360 億円であった。また、当月も純資産総額の増加率が最も高かった「コモディティ」は
2,192 億円増の 2 兆 7,827 億円となり、2024 年 12 月以降 12 カ月連続で純資産総額が増加している。

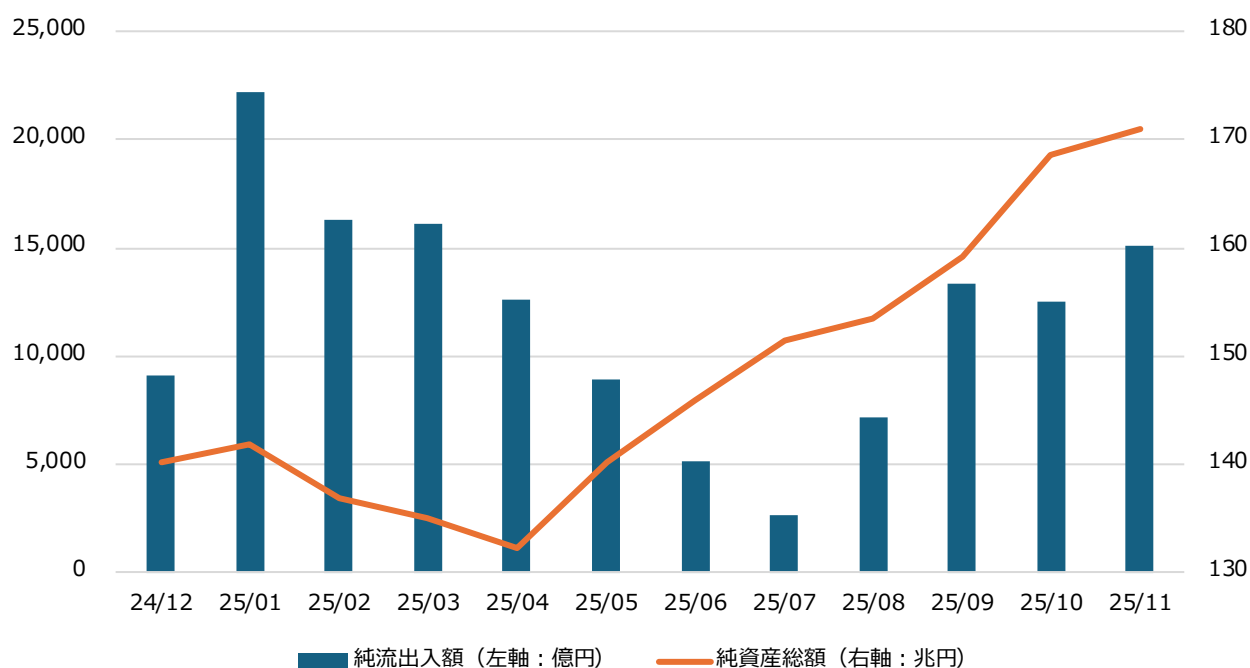
純流出入額でも「グローバル株式（ヘッジなし）」が 65 カ月連続の純流入と引き続き好調を維持し、当月の純流
入額は 8,146 億円であった。「グローバル株式（ヘッジなし）」をさらに細分化した集計では、インデックスファンドへ
6,008 億円の純流入と分類内で相対的に高水準の流入を継続している。一方、前月に 3 カ月ぶりの純流出となった
米国株式に投資するアクティブファンドは当月も 133 億円の純流出であった。「複合」は、北米地域の株式と債券に投
資するファンドに多額の資金が流入したこともあり 3,160 億円の純流入となった。

当月の個別ファンドの資金流入ランキングをみると、米国の株式と債券に 60 : 40 の配分で分散して投資する新規
設定ファンドに 1,912 億円の純流入と今年の新規設定ファンドの中で最大の純流入となった。

¹ SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティングが独自に定めたファンド分類のこと。すべての国内籍追加型株式投
資信託を対象とし、目論見書の記載事項をベースに、投資対象、投資地域、運用方針、投資手法に着目して分類を行っている。

【SGIC リサーチレビュー】

図表 1 純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

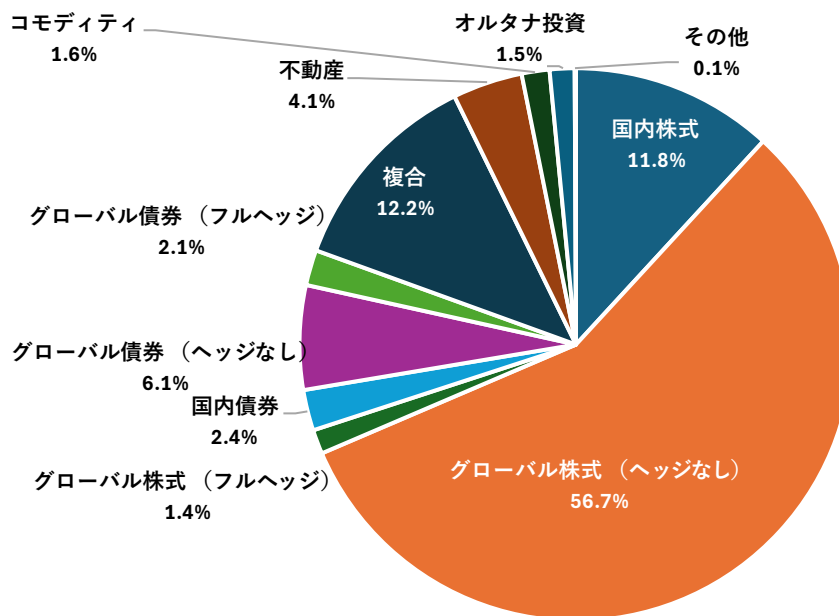
図表 2 2025 年 11 月の GW 分類 大分類別資金動向（億円）

GW分類 大分類	純資産総額				純流出入額
	25/10末	25/11末	増減額	増減率	25/11
国内株式	199,760	202,552	2,791	1.40%	1,922
グローバル株式（ヘッジなし）	958,090	970,360	12,270	1.28%	8,146
グローバル株式（フルヘッジ）	24,919	24,277	-642	-2.58%	-198
国内債券	40,854	40,792	-63	-0.15%	346
グローバル債券（ヘッジなし）	102,348	104,430	2,082	2.03%	312
グローバル債券（フルヘッジ）	36,409	35,427	-982	-2.70%	83
複合	204,343	209,120	4,776	2.34%	3,160
不動産	68,102	69,914	1,812	2.66%	4
コモディティ	25,636	27,827	2,192	8.55%	1,012
オルタナ投資	24,948	24,858	-91	-0.36%	393
その他	1,396	1,289	-108	-7.70%	-79
合計	1,686,806	1,710,843	24,037	1.43%	15,100

（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

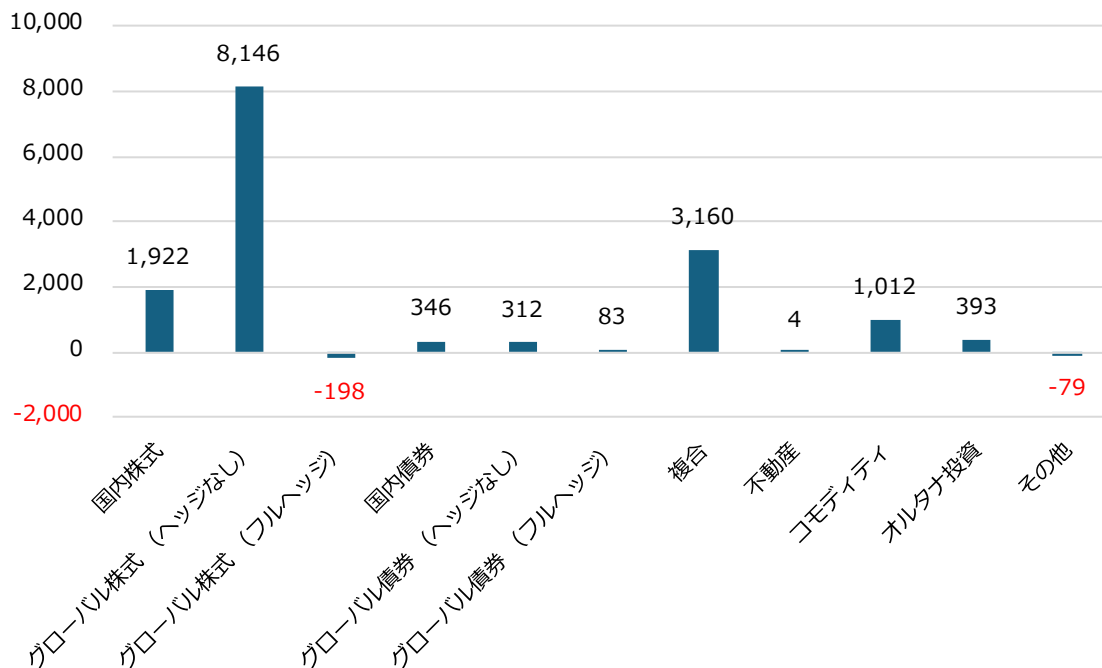
【SGIC リサーチレビュー】

図表 3a GW 分類 大分類別の純資産総額シェア（2025 年 11 月末基準）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表 3b 2025 年 11 月の GW 分類 大分類別純流出入額（億円）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

Appendix

図表 I GW 分類 大分類別の純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準、億円）



(出所) 投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

【SGIC リサーチレビュー】

図表Ⅱ 2025 年 11 月の純流入ランキング 10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA	
					つみたて	成長
1	eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	三菱UFJアセット	85,771	1,959	○	○
2	ティー・ロウ・プライス キャピタル・アプリケーション・ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	ティー・ロウ	1,943	1,912		○
3	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	インベスコ	29,424	1,371		
4	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	三菱UFJアセット	95,373	1,315	○	○
5	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）	フィデリティ	6,613	913		
6	ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド（為替ヘッジなし）	三井住友DS	3,879	419		○
7	iFreeNext FANG+インデックス	大和アセット	9,958	401	○	○
8	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	3,700	395		○
9	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	7,604	373		○
10	三菱UFJ 純金ファンド	三菱UFJアセット	7,439	322		○

（出所）投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表Ⅲ 2025 年 11 月の純流出ランキング 10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA	
					つみたて	成長
1	（ラップ専用）SBI・新興国株式	SBI	255	-189		
2	グローバル・エクスポネンシャル・イノベーション・ファンド	アモーヴァ	3,087	-141		○
3	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	アライアンス	18,843	-135		○
4	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	9,234	-115		○
5	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	アセットOne	10,482	-111		○
6	野村外国株インデックス Bコース（野村投資一任口座向け）	野村アセット	2,724	-105		
7	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	アモーヴァ	3,795	-92		○
8	投資のソムリエ	アセットOne	2,467	-92		○
9	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセット	2,607	-92		○
10	HSBC インド・インフラ株式オープン	HSBC	3,136	-91		○

（出所）投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

（END）

本資料について

【免責事項】本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社(以下「SGIC」といいます)が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料は SGIC の著作物です。ただし、本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属し、SGIC による当該指数等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細は <https://www.smbc-gic.co.jp> でご参照いただけます。投資に関する最終的なご判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

【SGIC が行う金融商品取引業に係る留意事項】 SGIC は投資一任業務及び投資助言業務を営んでいます。SGIC が、投資一任契約に基づき投資する及び投資顧問契約に基づき助言を行う金融商品または金融派生商品は、金利・通貨の価格・金融商品市場における相場その他の指標の変動により損失が生じる恐れがあります。

変動要因としては、有価証券等の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券等の発行体の信用リスク等、及び外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがってお客さまの投資元本は保証されているものではなく、金融商品等の価値の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

投資顧問契約及び投資一任契約に対する報酬(投資顧問報酬)は総契約資産額等に対して最大年率 0.880%(税込)、契約に基づき成功報酬が発生する場合があります。また、お客さまがご購入いただく金融商品において手数料や間接的に負担する費用等が発生する場合がありますが、これらについては、お客さまとの契約内容によって異なりますので、事前に表示することができません。

投資顧問契約等を締結される際には、事前に契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

商号等 SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第449号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会